



MIHARU
Rotary

2022-21 三春ロータリークラブ テーマ
未来を語り、情熱を持って活動し、
自らも成長しよう！



Program	
1. 開会点鐘	
2. ロータリーソング「奉仕の理想」	
3. 四つのテストの唱和	
4. 会長挨拶	
5. 幹事報告	
6. 各委員会報告・その他連絡事項	
7. 友のみどころ 川又暉之さん	
8. 『母子の健康月間』プログラム 社会・国際奉仕委員会 吉田将史 『家族を守る為の食育』 有限会社みはる調剤薬局 代表取締役 濱田雅博様	
9. 閉会点鐘	

令和5年4月6日（木）12:30～ 場所：割烹 八文字屋

強調月間『母子の健康月間』プログラム

会長挨拶 橋本 国春

皆さんこんにちは。強調月間「母子の健康月間」プログラム例会に出席頂き有難うございます。また、本日の月間プログラム例会には、外部講師として、有限会社みはる調剤薬局の濱田代表取締役にお越し頂きました。後程、担当奉仕委員長より経歴等ご説明がありますので、私からはご紹介のみとさせて頂きます。濱田さんご多忙の中、本日は有難うございました。宜しくお願ひします。

友好クラブとして、約10年前の2013年6月21日合意書を締結以来、友好親善交流を図ってきた、国際ロータリー第2770地区春日部西ロータリークラブとの、第3回目の更新締結を3月30日春日部西ロータリークラブ例会時に行い、宮下智義会長との間で締結書に調印しました。締結期間は、この4月1日から2025年6月30日までとし、活動内容等につきましては現在と同じであります。当日は、三春クラブから三條エレクト、川又さんで調印式、例会に出席しました。春日部西ロータリークラブは会員29名、うち当日の出席者は27名と多くの会員が出席され、楽しんだ例会に参加して来ました。

また、クラブ間の記念品交換も行われ、三春からは三春駒(縫いぐるみ)春日部西クラブからは、凧等を頂いてきました。今後の交流等を含め、詳しくはまたの機会にしたいと思います。

当日調印式が始まる前に、春日部西ロータリークラブが三春の枝垂れ桜を植栽したのを見せて頂きました。震災後の10年前に、三春の枝垂れ桜を春日部市内の小学校22校、中学校12校に70本を植栽されました。

そのうち、小中学校1校ずつを見せて頂き、どちらの学校の桜も散り際になっていましたが、幹は大きくなっていますが、管理も良好されていました。三春の枝垂れ桜70本を植栽されたのには改めて感心しました。数本は枯れてしまったのもあるとのことですが、今後も楽しみですし、両クラブの交流の証だと思いました。

春日部西ロータリークラブも機会を見て、三春を訪れたいとのことでした。以上が今回の春日部西ロータリークラブ訪問の報告とします。本日の母子健康月間プログラム例会が、実のある例会となりますようお願いし、会長挨拶とします。

幹事報告 初見 和俊

- 4月8日(土) 第15回さくらの里クリーンアップ作戦
三春ダム管理所駐車場 午前8時30分集合～午前11時
- 4月13日(木) RFCラジオ福島 郡山支社長 矢吹 幸 様
- 4月17日(月) 理事会 割烹八文字屋



米山功労者表彰



米山功労者表彰 第7回 マルチプル
佐久間 英一さん



米山功労者表彰 第3回 マルチプル
増子 博保さん

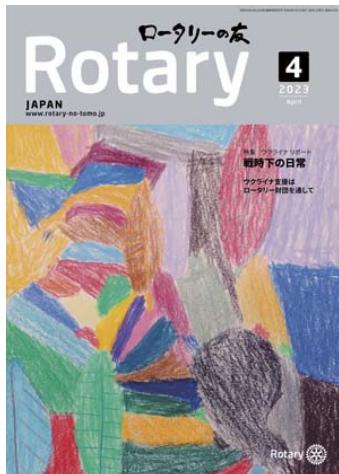
各委員会報告・その他連絡事項 三瓶 一壽さん

この度、私共の監理で三春町が修繕工事を進めておりました、国登録有形文化財「紫雲閣」が3月に完成いたしました。想定を超える大変な難工事となってしまい、工事中紫雲寺檀家様や近隣の方々にもご不便をおかけすることが多かったと恐縮しております。関係各位のご理解とご協力に感謝いたします。

また修繕工事を終えた装い新たな紫雲閣のお披露目を来る4月9日(日)に予定しておりますので、ご興味のある方はご覧ください。



友の見どころ 川又 晉之さん



横書き P.4 ジェニファー・ジョーンズRI会長メッセージ

最悪な状況の中から最善のことを引き出すにはどうすればよいでしょうか？

「コロナ禍が私たちの世界を、そして私たちの生活を一変させたことを忘れる人はいないでしょう。私たち一人一人がこの不確実な時代を乗り越えなければならず、その影響を逃れられる人は誰一人としていませんでした。その結果、私は、これまでとは異なるグローバルリーダーシップ、つまり勇気と共に感力を備えていると同時に、感受性豊かなリーダーたちのための場所をつくり出したと感じている。」

P.6 ロータリーの創設者ポール・ハリスは、4月19日生まれ。
155回目の誕生日

P.7 ロータリーとは ロータリーの誕生とその成長

200以上の国と地域にクラブ数 36, 904,
会員総数 1,187,842人(2023年2月16日国際ロータリー公式発表)
日本のロータリークラブ数 2,215
会員総数 84,311人(2023年1月末現在)



P.8 特集 「ウクライナリポート 戦時下の日常」

「ROTARY」編集長のウェン・ホアンさんがウクライナ西部のリビウを訪ね、そこに暮らす人々の回復力とロータリーの世界的なネットワークの広がりを目にしたリポート。

「戦争が始まると、ウクライナのロータリー会員たちは危機管理委員会を結成し、避難民の支援を最優先事項とした。」

P.16 特支援はロータリー財団を通じて

寄付金総額は、1,500万ドル、そのうち日本からの寄付が330万ドル。

日本の34地区のうち、述べ26地区が同基金の申請を通じて、現地に必要な物資を送った。今年2月、ロータリー財団は、ウクライナ救援基金、パキスタン洪水救援基金に加え、トルコ・シリア地震の被災者を支援するための災害救援基金を集めることを決定。補助金の活用で3地区の報告。

P.18 ローターアクトの何が変わったの？ローターアクトの変更点の確認

P.20 視点、ガバナーのロータリー・メント

第2620地区静岡RC「汗を流した分だけ深まるロータリーの絆」グループごとの奉仕

P.33 ロータリー財団管理委員長からのメッセージ

大きく考え、大きく行動を

クラブがより大きなプロジェクトで協力すればするほど、より多くのことが成し遂げられる。「大きく行動する」とは、財団の大規模プログラム補助金の背後に流れる考え方の一つ。

縦組み P4 外務省医務官が経験した海外の医療事情（第2770地区ロータリー財団部門講演要旨）

国際医療福祉大学臨床医学研究センター特任教授の中井呈子さんは、50歳を過ぎてから13年間、外務省の医務官として海外で働いた。面接で「ゴルフができる、ワインが飲める国ならどんなところでも行く」と即答。初任地はセネガル、断水と停電はしょっちゅう、下水道もない。

次はキューバ共和国、物資不足でやかんも買えず。ゴルフ場でびっくり、グリーンにポールもない。次の赴任地はブルガリア共和国。最後の赴任国はベトナム社会主義共和国、ハノイで勤務。散歩に行くときには大気汚染でマスクが必要品。結核も深刻。国立産婦人科病院で信じられないのは、一つのベッドにお母さんが2人、生まれた赤ちゃんが1人ずつの4人、ベトナムでは普通とか。ロータリーの皆さん方が海外で奉仕活動を展開される時は、奉仕活動をする当人の事情、特に医療事情をしっかりと把握して現地に行ってほしい。

P.16 福島喜三次のこと

元NHKアナウンサーの松平定知氏の夫人が福島喜三次の孫。19ページ下に福島喜三次の記載あり

P.20 ロータリー・アットワーク

本の再生事業でインター・アクターが活躍

生徒や先生から不要になった小説や絵本、学習書を回収し、シンポジウム会場で本と引き換えに寄付を募る。集まった資金は、教育や健康の分野で活用してもらえるよう、ロータリー財団やユニセフに寄付。（八代南RC・第2720地区熊本県）

P.23 お正月KIDSエコイベント

ペットボトルキャップを持ち寄り、ゲームを使って楽しみながら、ごみについて学ぶ。

P.25 クリスマスドロップ作戦に参加しました。（八潮ロータリークラブ）

グアムサンライズ・ロータリークラブから声がかかり、国際奉仕活動として「クリスマスドロップ作戦」に参加。
高橋倫代会長記

「クリスマスドロップ作戦」とは、アメリカ空軍のボランティアが、西太平洋ミクロネシア諸島の50以上の島々に空中から支援物資を投下する活動。1952年から毎年12月行われており、アメリカ国防総省の人道目的の空輸活動としては最も歴史が長い。

『母子の健康月間』プログラム

社会・国際奉仕委員会 吉田将史 委員長

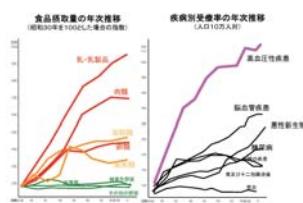
皆さんこんにちは。来月のプログラムとして三春町内の二つの児童クラブに図書の寄贈を行います。その際、エコキヤップの回収も行いますので皆様お持ちのエコキヤップをご持参いただきたいと思います。詳細につきましては、後日改めてご案内いたします。

さて本日の『母子の健康月間』プログラムは、外部講師としてみはる調剤薬局 濱田雅博様にお越しいただきました。濱田先生、お忙しいところ誠にありがとうございます。本日はよろしくお願ひ致します。



『家族を守る為の食育』 濱田雅博

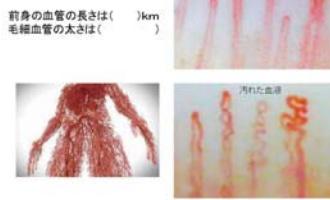
【家族を守るための食育】



1995年 6214人

26年で約3倍

2021年 1万9351人



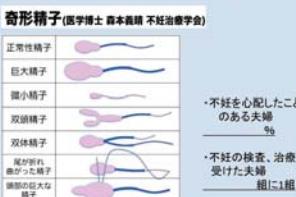
【症状とは…身体が起こしている信号である】



【体は食事でできている】



【食事が体に与える影響とは】



【家族の為に始める自身の健康づくり】

- ①症状を当り前と思わない
- ②体づくりは食事から
 - ・ミネラルビタミン大事
 - ・薬、添加物に注意
- ③定期的に情報を続ける
- ④こんなんだと諦めない
- ⑤行動する





Smile Box スマイルボックス

● 橋本 国春さん

皆さんこんにちは。

春日部西ロータリークラブとの友好クラブ合意書更新締結祝いと、本日の「母子の健康月間プログラム」濱田講師のご来訪に感謝しスマイルします。

● 川又 晉之さん

濱田さんの来訪を感謝して、ロータリー入会を願って！

● 橋本 紀子さん

みはる調剤薬局濱田様、お忙しい中ご来訪下さり有難う御座います。お話をのしみにしております

● 三瓶 一壽さん

濱田様、本日は卓話よろしくお願ひします。

● 増子 博保さん

濱田さん、本日はお世話になります。お話、楽しみにしております。濱田さんの講話に感謝申し上げスマイル致します。

● 初見 和俊さん

みはる調剤薬局 濱田さんの来訪に感謝して。

● 佐久間 英一さん

例会を祝して。濱田さんの来訪を祝して。

● 山口 進さん

(有)みはる調剤薬局 濱田雅博社長のゲスト卓話を歓迎して。

● 吉田 将史さん

濱田社長、本日はお忙しい中ありがとうございました。

● 内藤 俊文さん

有限会社みはる調剤薬局 代表取締役 濱田雅博様、本日は「母子の健康月間プログラム家族を守る為の食育」楽しみしております。よろしくお願い致します。スマイルします。

本日多くのスマイルありがとうございました。

計 16,000 円

友好・交流クラブ・各種団体の活動紹介

春日部西ロータリークラブ(埼玉)



本日は、お花見例会を杉戸の高橋屋さんで開催しました。そこに福島の三春ロータリークラブから橋本国春会長をはじめとするお客様をお迎えし、姉妹クラブの再調印式を執り行いました。ライトアップされた桜の花も美しかったですが、懇親会では、10年前に姉妹クラブとなった当時の思い出話にも花を咲かせることができました。三春クラブの皆様、遠路をお越しくださり本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いいいたします。

